



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社フェイス 上場取引所 東
 コード番号 4295 URL http://faith.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平澤 創
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 佐伯 次郎 TEL 03-5464-7633
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,034	2.6	353	△31.4	298	△40.3	80	△61.4
29年3月期第1四半期	4,908	4.5	515	212.7	500	197.3	208	273.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 420百万円(3.7%) 29年3月期第1四半期 405百万円(598.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.16	—
29年3月期第1四半期	21.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	26,029	18,422	62.1
29年3月期	26,959	18,066	59.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 16,172百万円 29年3月期 16,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	6.4	560	△50.4	510	△52.9	220	△49.3	17.77
通期	22,100	6.3	1,310	△25.5	1,300	△15.5	800	39.9	61.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

(注) 連結業績予想の1株当たり当期純利益の算出にあたっては、完全子会社化に係る株式交換による株式数の増加を織り込んで算出しております。なお、連結業績予想の修正については、本日(平成29年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	11,960,000株	29年3月期	11,960,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,091,310株	29年3月期	2,091,180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	9,868,743株	29年3月期1Q	9,869,510株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内の情報通信分野においては、スマートフォンやタブレット型多機能端末等のデバイスの多様化とともに普及が一層進み、従前の急激な普及期と比較すると増加ペースは緩やかであるものの、平成28年度のスマートフォン出荷台数は3,013万台と初めて3,000万台を越え、これまでのピークであった2012年度を上回る過去最高の出荷台数を記録しました(※1)。このようにフィーチャーホンからスマートフォンへの切り替えの進展に伴い、サービスの変容が引き続き求められていくとともに、今後も消費者の嗜好やライフスタイル、市場の変化に合わせたサービスを機敏に提供していくことの重要性が増しています。

※1 株式会社MM総研「2016年度通期国内携帯電話端末出荷概況」(平成29年5月18日発表)

このような環境の下、当社は、創業以来コンテンツのデジタル流通に注力してきた取組みを活かし、引き続き『マルチコンテンツ&マルチデバイス戦略(様々なコンテンツを、必要に応じて、必要な場所で楽しむことができる環境の創造)』を推進し、インターネット上に溢れる情報を収集、整理し、付加価値を高めてユーザーに提供するプラットフォームの開発など市場環境の変化に応じた新規サービス展開に取り組んでまいりました。

当社グループの第1四半期連結累計期間の業績について、売上高は前年同期比2.6%増の5,034百万円、営業利益は前年同期比31.4%減の353百万円、経常利益は前年同期比40.3%減の298百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比61.4%減の80百万円となりました。

また、当社においては平成29年6月29日、日本コロムビア株式会社においては同年6月23日にそれぞれ開催された定時株主総会において株式交換契約が承認され、平成29年8月1日を効力発生日とする株式交換により、当社は、日本コロムビア株式会社の全株式を取得し、完全子会社化が完了いたしました。このたびの完全子会社化により事業戦略の一元化と意思決定のスピードアップ、ノウハウ・人材等の効率的な活用をより一層進めるとともに、音楽業界の変革期に対応する創造力を強化し、両社およびフェイス・グループ全体の更なる企業価値の向上に努めてまいります。

<コンテンツ事業>

コンテンツ事業においては、スマートフォンなどの普及や音楽視聴スタイルの変化など市場環境に応じた新たな商品開発を積極的に進めているほか、多様化する収益源の獲得に向けてプラットフォーム化などを行うとともに、既存の事業を含めたサービス内容や市場性の結果検証を行い、機能の改善や各サービスの連動など、より付加価値を高める施策を推進しております。

「FaRao PRO」は、インターネットを活用した業務用BGM、アナウンス機能に加え、サイネージや防犯カメラ機能など、店舗運営に必要な機能拡充、営業活動を積極的に展開しております。また、本年4月に京都で開催されました国際アルツハイマー病協会国際会議では、フランス アンジェ市との連携による医療機関への「FaRao PRO」導入事例の紹介を行う等、店舗に限らず幅広い領域での活用に積極的に取り組んでおります。フランス、インドネシアにおいても、日本でのサービスを基盤として「FaRao PRO」事業を開始しており、今後とも、国内外において新たなBGM市場の創造と活性化を目指してまいります。

アーティスト向けプラットフォーム「Fans'」は、オフィシャルサイトの構築、楽曲・映像配信、アーティストグッズの販売、ファンクラブ運営などアーティスト活動に必要な機能の拡充を行っております。より多くのアーティストが作品や情報を自由に発信できるサービスとして、利用者の獲得、拡大を目指すとともに、使いやすさの追及等サービス品質の向上に努めてまいります。

この結果、コンテンツ事業の売上高は、市場環境の変化に合わせた新たなサービス展開を積極的に進めたものの、フィーチャーフォン向けサービスの売上減少により、前年同期比11.8%減の980百万円となり、営業損失は33百万円(前年同期は営業損失30百万円)となりました。

<ポイント事業>

ポイント事業においては、既存加盟店でのポイント発行が堅調に推移し、セルフリキデーション(※2)事業も好調であったことにより、売上高は、前年同期比14.0%増の596百万円となりましたが、オフィス移転等により、営業利益は、前年同期比32.2%減の26百万円となりました。

※2 シールなどのポイントを貯めて、様々な商品を割引価格で購入できるキャンペーン

<レーベル事業>

レーベル事業においては、音楽市場の縮小に伴う音楽・映像関連業界の厳しい環境の下、パッケージ商品に依存している状況からの脱却を図るため、将来を見ずえた新規事業の強化を進めております。

業績につきましては、前年同期の売上に貢献いたしましたアニメ関連作品、J-POP作品及び教育作品の売上は減少しましたが、株式会社ドリーミュージック及び同社の子会社を新たに連結したことにより、売上高は前年同期比5.6%増の3,458百万円となりました。利益につきましては、利益率の高い音源使用売上の減少等により、営業利益は前年同期比29.2%減の358百万円となりました。

※本文書に記載されている会社名、製品名は、各社および各団体の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて929百万円減少し、26,029百万円となりました。主として現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品の減少及び仕掛品、投資有価証券の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,285百万円減少し、7,607百万円となりました。主として支払手形及び買掛金、未払費用、借入金、流動負債のその他の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて356百万円増加し、18,422百万円となりました。主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、非支配株主持分の増加等によるものであります。

自己資本比率は2.6ポイント増加して、62.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での第2四半期累計会計期間及び通期の業績予想につきましては、本日(平成29年8月10日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,268,853	13,634,950
受取手形及び売掛金	2,659,104	2,211,496
有価証券	230,572	230,503
商品及び製品	561,536	490,636
仕掛品	356,686	473,987
原材料及び貯蔵品	49,983	42,905
未収還付法人税等	27,454	11,205
繰延税金資産	100,976	91,002
その他	639,750	721,081
貸倒引当金	△18,863	△18,897
流動資産合計	18,876,055	17,888,873
固定資産		
有形固定資産	2,831,617	2,822,474
無形固定資産		
のれん	1,833,611	1,798,192
その他	855,577	831,612
無形固定資産合計	2,689,188	2,629,804
投資その他の資産		
投資有価証券	2,137,412	2,248,098
繰延税金資産	26,208	26,208
その他	718,609	723,936
貸倒引当金	△319,539	△309,422
投資その他の資産合計	2,562,690	2,688,820
固定資産合計	8,083,496	8,141,099
資産合計	26,959,552	26,029,972
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,233,646	1,041,452
短期借入金	852,119	682,120
リース債務	6,582	4,496
未払費用	2,756,629	2,623,556
未払法人税等	327,800	59,452
賞与引当金	78,300	39,111
ポイント引当金	43,570	19,832
返品調整引当金	96,748	85,086
その他	2,164,786	1,731,215
流動負債合計	7,560,185	6,286,323
固定負債		
長期借入金	464,530	452,500
退職給付に係る負債	621,382	580,290
リース債務	1,446	1,265
繰延税金負債	195,107	243,224
その他	50,320	43,723
固定負債合計	1,332,787	1,321,005
負債合計	8,892,972	7,607,328

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,705,680	3,705,680
利益剰余金	11,953,901	11,961,226
自己株式	△3,039,450	△3,039,610
株主資本合計	15,838,131	15,845,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267,014	379,735
為替換算調整勘定	△11,513	△12,986
退職給付に係る調整累計額	△41,119	△39,264
その他の包括利益累計額合計	214,381	327,484
新株予約権	15,691	—
非支配株主持分	1,998,376	2,249,862
純資産合計	18,066,579	18,422,643
負債純資産合計	26,959,552	26,029,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,908,878	5,034,924
売上原価	2,822,072	2,987,066
売上総利益	2,086,806	2,047,858
販売費及び一般管理費	1,570,942	1,694,029
営業利益	515,863	353,829
営業外収益		
受取利息	286	426
受取配当金	2,834	2,831
有価証券利息	7	11
投資事業組合運用益	4,195	3,855
為替差益	—	446
雑収入	3,723	4,263
営業外収益合計	11,047	11,834
営業外費用		
支払利息	3,556	2,014
持分法による投資損失	18,582	15,968
企業結合における交換費用	—	48,552
為替差損	2,818	—
雑支出	1,505	379
営業外費用合計	26,462	66,915
経常利益	500,447	298,748
特別利益		
投資有価証券売却益	—	32,800
持分変動利益	—	5,859
新株予約権戻入益	12,369	15,691
特別利益合計	12,369	54,350
特別損失		
固定資産処分損	2,181	—
特別損失合計	2,181	—
税金等調整前四半期純利益	510,635	353,098
法人税等	49,252	36,804
法人税等調整額	9,067	9,081
四半期純利益	452,316	307,212
非支配株主に帰属する四半期純利益	243,622	226,713
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,693	80,499

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	452,316	307,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,081	111,466
為替換算調整勘定	△40	△1,467
退職給付に係る調整額	△253	3,638
その他の包括利益合計	△46,375	113,636
四半期包括利益	405,941	420,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,940	193,602
非支配株主に係る四半期包括利益	244,000	227,247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	レーベル	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,111,231	523,248	3,274,398	4,908,878	—	4,908,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,471	—	13,324	34,795	△34,795	—
計	1,132,702	523,248	3,287,723	4,943,674	△34,795	4,908,878
セグメント利益又は損 失(△)	△30,078	39,276	506,357	515,554	308	515,863

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額308千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	レーベル	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	980,080	596,300	3,458,543	5,034,924	—	5,034,924
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,212	—	2,008	28,220	△28,220	—
計	1,006,292	596,300	3,460,551	5,063,145	△28,220	5,034,924
セグメント利益又は損 失(△)	△33,564	26,636	358,734	351,806	2,022	353,829

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2,022千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの名称の変更

(株)ドリーミュージック及び同社の子会社を前連結会計年度末をみなし取得日としてに連結子会社としたことにより、「コロムビア事業」に同社を加え「レーベル事業」としております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。